

阿倍野区区政会議委員評価シート（集計）

集計委員人数計：	26人
----------	-----

【評価】 4…思う 3…やや思う 2…あまり思わない 1…思わない

資料2－2、2－3をご覧ください、令和7年度阿倍野区区政運営について、下記の評価欄のどれか1つに○をつけ、評価理由がございましたらご記入ください。

1. 資料2－3【事業報告書】各経営課題において取り組んだ内容は、総合的に見て、めざすべき将来像の実現に有効であったと思いますか？

経営課題	めざすべき将来像	評価 (人数)				平均点	
		4	3	2	1		
【経営課題1】 人がつながり、安全・安心とにぎわいを未来につなぐまち	「人と人のつながり」を基盤とした地域コミュニティの維持および活性化に取り組み、災害に強く、犯罪や交通事故を予防し、安全・安心で活気ある魅力的なまちづくりを推進します。	16	7	3	0	3.5	【全般】 ・つながりの実感が約7割。にぎわいの取組の実感が約6割など、ばらつきがあった。 ・見守り・声かけ、防災訓練の参加促進、地域イベントでの世代交流などが大切だ。 ・前年度実績と比較すると、7年度の達成状況は各項目で微増しているが、「B」評価⇒未達成であり、さらなる取組を必要とすると思われる。 ・達成率が低い。 ・めざすべき内容は、具体的なプランを多様に取り入れて試行錯誤する必要があると思う。 ・概ね慣例となっている「つながり」や防災・防犯に関するイベントは参加者が固定化しており、周知徹底以外にも他の方策を検討すべき。 【つながりのあるまちづくり】 ・町会に加入しないといけない理由はあるか。達成状況を知る方法として、アンケートが適しているか疑問。前年度実績とほぼ変わらないのならあまり有効ではなかったのかな、と思う。 ・人と人のつながりの希薄化が心配。地域のつながりを強めていきたい。 ・地域交流は、障がい者にとって命に関わる「生命線」である。コミュニティを元気にする方針には賛成。ただ、外に出にくい障がい者や若い世代をどうやって具体的に巻き込むのか、もう一歩踏み込んだ工夫がほしい。 ・町会（連合町会）と地域活動協議会の関係性が問題となっている地域も多いと思うが、それぞれの立ち位置を行政サイドで明確にすることにより、区民によるこれらのボランティア活動が実施しやすくなると考える。 【災害に強いまちづくり】 ・各地域の実情に応じた防災力を高める取組に行政が協力的で近くに感じる。 ・防災、減災面ではかなり頑張っていると思う。 【犯罪や交通事故を防ぐまちづくり】 ・阿倍野筋沿いの交通事故対策にもう少し力を入れてほしい。 ・区民アンケートで防犯啓発活動等の取組が犯罪防止に役立っていると回答した人が80%を超えているため評価できる。 ・犯罪や事故等の防止については、安まちメールやアプリへの配信が阿倍野区は少なく、遅いと思う（アプリの使い勝手も問題あり）。 ・防犯カメラについて、管理面での統合と継続的な補助が必要と思う。
【経営課題2】 こども・若者たちがのびやかに成長できるまち	子育てしやすいまちづくりをめざし、教育と福祉が連携した取組を支援することで、こども・若者が健やかに成長できる環境を整えます。	17	9	0	0	3.65	【全般】 ・健やかに育てやすいと感じているが約8割であるため。 ・祭り・行事を通じた地域活性化、見守り活動、防災・防犯の広域連携が大切だ。 ・7年度指標の達成状況は「A」評価であり、前年度実績に比べても評価できると思う。 ・誰にどこでアンケートをとっているのかで、達成状況はかわるのかなと思った。 ・こどもはたからです。これからも見守り続けていき、平和な日本を守ってほしい。 ・誰でも通園制度のより拡充を進めてほしい。 ・未来をつくる子どもたちが健やかに育つことが最優先だと考えている。いじめや孤立に悩まず、穏やかに過ごせる環境が重要だと思っている。 ・誰に対するアンケートかわからない。 【全てのこどもたちが幸せに成長できる、子育てしやすい環境づくり】 ・「あべの子育てマップ」や「子育てミニニュース」が役に立っていると90%以上の人が感じているため評価できる。 ・専門職と色々なケースの子ども家庭とつながれているか状況がよくわからない。 【時代の変化に対応した学校教育】 ・こどもたちの体力が心配。運動できる機会と場の提供が大切だと思う。 ・様々な取組が実施されていることを評価できるが、学校を中心とした種々の会議（教育会議・教育行政連絡会・校長会？・学校協議会・学校区教育協議会はぐみネット・その他PTA関連等？）の関係性がよく分からない。

経営課題	めざすべき将来像	評価数 (人)				平均点	評価理由
		4	3	2	1		
【経営課題3】 誰もが自分らしく 幸せに暮らし続けられるまち	阿倍野区に暮らす全ての住民が、住み慣れた地域で人として尊重され、お互いに支え合いながら、誰もが自分らしく幸せに暮らし続けられるまちを実現します。	15	5	6	0	3.35	【全般】 ・防災に強い地域、防犯・見守り体制、子ども・高齢者が安心して歩ける道路環境が大切だ。 ・7年度実績の達成状況は悪くはないが、進捗度合を示す指標は数値的に低く、前年度実績との比較においても、あまり評価はできない。 ・高齢化を危惧します。皆でささえあえる街づくりを！！ ・インクルーシブな取組を拡大してほしい。 ・日常や災害時に安全・安心を感じるようになったと80%以上の人を感じているため評価できる。 ・そうあってほしいと願うが、結果的に少しは利益を受けたい人としかつながれない、関われないので効果測定が困難。 ・達成率が低い。 ・「広報あべの」は様々な活動の周知のために非常に良い媒体だと思うが、全戸配布のはずが行き届いていないお宅もある。 ・区のホームページも活用すべき媒体だが、改めて開く必要のあるPDFが多すぎる等、改善すべき点が多々あると考えられる。 【みんなで支えあう地域づくりと相談支援体制づくり】 ・地域で支援を必要とする人に、必要とするサービス提供が行き届いていると感じている割合が約5割という状況。 ・障がいの有無にかかわらず、誰もが尊重され幸せに生きるべきだと考えている。 ・表札を出さないで住む、近所と関わらないで住む、寝に帰るだけのワンルームマンションが増えている。こういう人たちとの繋がりが課題となる。 ・地域コミュニティの基本はやはり町会だと思うが、未加入世帯を含めた地活協の活動も重要。全く別の団体や会社などの組織が、同様の活動をしていることも多い。これらの活動を関係者(地域ボランティア)が補い合って楽しんで推進できる環境を、行政が整えていただく必要を感じている。 【地域ぐるみで、誰もが元気に暮らせる健康づくり】 ・運動習慣があるかどうかでまちの判断をするのが疑問。

2. 上記のような阿倍野区の経営課題は、区の目標の実現に有効であったと思いますか？

区の目標(何をめざすのか)	評価数 (人)				平均点	評価理由
	4	3	2	1		
誰もが住みたい、住み続けたいまち「あべの」の実現	18	6	2	0	3.62	【全般】 ・有効であると思うが、そう思わない方々の要因分析が必要となる。 ・課題に対する施策は単一ではない為、具体的課題に対応した有効な取組を粘り強く継続していくことが必要不可欠である。 ・阿倍野区は元々住みやすく、現状維持でも大きな問題はないという認識。ただし近年、外国人や学生の増加など地域の変化が進んでいる。今すぐ住みにくくなるわけではないが、将来に向けて備え・対応を進める必要がある。 ・一部シャッター商店街が増えてしまっていると思う。落書き等もあり、犯罪抑制の観点からも良くないので、様々な機関とコラボして盛り上げてほしい。例えば、ナウル共和国政府観光局日本事務所とのコラボはいかがでしょうか？ ・経営課題がバランスよいと考えるため評価できる。 ・「誰もが住み続けたいまち」という目標に対して、計画がやや漠然としていていると感じている。イベントの参加者数など“数”の評価だけでは不十分だと思っている。 ・イベントに来られない障害者や子どもたちの安心・安全にも目を向けるべきだと考えている。安心・安全の確保について、具体策まで踏み込んだ計画を求めている。 【目標設定・アンケート結果について】 ・今年度施策で目標設定が未記載のものがあるため明確化すべき。 ・前年度と同水準の施策でも前年度に目標達成済みの項目は目標値を引き上げて再設定すべき。 ・各種アンケート結果は個体数を明示すべき。 ・目標値を設定しているが50%を下回っているのは問題視するべき。目標値を達成しているのに目標値をそのままにしている時点で高みを望んでいないのではないかと思う。 【あべのについて】 ・交通アクセスが良く、生活利便性が高い。 ・商店街や地域コミュニティが根強い。 ・公園・学校・公共施設がまとまっている。 ・やはり「あべのが好き」の一言です。